

平成23年行政事業レビューシート

(総務省)

事業名	国際会議等に必要な経費（分担金・拠出金） （うち国際統計協会分担金）		担当部局庁	総務省政策統括官（統計基準担当）		作成責任者		
事業開始・終了（予定）年度	事業開始：明治32年		担当課室	総務省政策統括官付統計企画管理官室		統計企画管理官 千野雅人		
会計区分	一般会計		施策名	-				
根拠法令 （具体的な 条項も記載）	総務省設置法第4条第84号		関係する計 画、通知等	国際統計協会規約、会費支払い請求通知				
事業の目的 （目指す姿を簡 潔に。3行程度 以内）	統計に関する国際協力とその進歩、発展を図ること等を目的に国際統計協会が設立されており、政府の公的統計を所管する当省は、各国の政府統計代表者とともに、同協会が実施する国際統計協会大会に出席している。同大会において総会や各種セッションに参加して我が国の統計に関する情報発信を行い、世界の統計水準を高めることに寄与するとともに、同大会で最新の統計情報を入手することにより、我が国の統計の体系的整備に貢献するものである。							
事業概要 （5行程度以 内。別添可）	上記の目的を達成するため、総務省では、国際統計協会の団体会員及び職務会員として同協会へ会費を拠出するとともに、同協会の総会や各種セッションに参加している。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input checked="" type="checkbox"/> その他							
予算額・ 執行額 （単位：百万円）			20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予 算 の 状 況	当初予算	0.3	0.3	0.3	0.2	0.2	
		補正予算	0	0	0	0		
		繰越し等	0	0	0	0		
		計	0.3	0.3	0.3	0.2	0.2	
	執行額		0.3	0.3	0.3			
執行率（%）		100	100	100				
成果目標及び 成果実績 （アウトカム）	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 （年度）
	国際統計協会には各国が参加しており、各国政府統計代表者が一同に会する国際統計協会大会においては、世界の統計に関する情報発信及び最新の情報収集が可能となる。会費は、非営利団体である同協会の運営のため、一律に課されるものであり、このような事業の内容及び会費という性格上、定量的な成果目標の設定にはなじまない。なお、平成21年度開催の第57回大会において、我が国は招待論文会合のコメントーター及び寄稿論文会合の議長を務めたほか、論文発表も行った。		成果実績					
			達成度	%				
活動指標及び 活動実績 （アウトプット）	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	国際統計協会には各国が参加しており、各国政府統計代表者が一同に会する国際統計協会大会においては、世界の統計に関する情報発信及び最新の情報収集が可能となる。会費は、非営利団体である同協会の運営のため、一律に課されるものであり、このような事業の内容及び会費という性格上、定量的な活動指標の設定にはなじまない。		活動実績 （当初見込み）					—
								() ()
単位当たり コスト	(円/)		算出根拠					
平成 23 ・ 24 年度 予算 内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	国際統計協会分担金	0.2	0.2					
	計	0.2	0.2					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	-	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途、費目・	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	我が国が各国の統計関係者との交流を深め、また最新の統計情報の入手、我が国の情報発信を図るため、国際統計協会に継続して加入することは必要である。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	条約等に基づくものであるため		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

総務省
0.3百万円

【分担金】

A. 国際統計協会
0.3百万円

国際統計協会事業の運営

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者につ
 いて記載する。費目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
会費	国際統計協会事業の運営	0.3			
計		0.3	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入 札 者 数	落 札 率
1	国際統計協会	国際統計協会事業の運営	0.3	—	—
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					